

## 冬・ひいらぎ



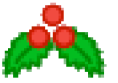
ヒイラギ・モクセイ科  
トゲのある葉が印象的



セイヨウヒイラギ・モチノキ科  
赤い実はモチノキを思い出させる



## 『ヒイラギとホーリーはともに古代から厄除けに』



ホーリーはセイヨウヒイラギやヒイラギモチなどの和名や、ヒイラギのような大きな牙状のトゲのついた光沢のある厚い葉をもつことから日本のヒイラギの仲間と思われがちです。

ホーリーはモチノキ科のモチノキ属（仲間にはクロガネモチ、タラヨウ、ソヨゴ、モチノキ、ウメモドキなど）です。日本のヒイラギはモクセイ科モクセイ属（キンモクセイ、ギンモクセイ、ヒイラギモクセイ、ハゴロモジャスミン、ソケイなど）なので、実は分類上はまったく異なる種なのです。

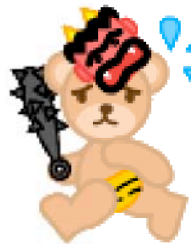


ホーリーの枝またはリースにして扉などに飾る習わしは、冬でも枯れない常緑の葉で邪気をはらって永遠を表すもの。赤い実を情熱や幸福を表すものとす、古くからの民間信仰に由来するものといわれています。

正月にマツやナンテンを、節分にヒイラギ（モクセイ科の）の枝を魔除けとして飾る日本の習慣と比べても、非常に似ていますが、あります。



セイヨウヒイラギ（ホーリー）はクリスマスに飾るイギリス古来の慣習から広がった。



MERRY CHRISTMAS!

## ハリウッドとは不動産会社の広告

アメリカ映画の中心地ハリウッド(Hollywood)は「セイヨウヒイラギの森」の意味ですが、ここにはアメリカンホーリーさえも生えていません。所有者の友人の別荘の名を流用したのにすぎないとのこと。 (1886年不動産業者ウィルコックス夫妻によって名づけられた)

**ホーリー** 由来はヒイラギのような葉の形をしているモチノキ。モチノキ科モチノキ属の常緑低木で、雌雄別株だが、雌株単独でも実をつける。葉は互生し、四〜五月に白い花が咲き、十一月〜十二月に赤く熟す。

**ヒイラギ** 由来は終・瘥木で、ヒイラクよりヒイラクなりヒイラギと呼ばれ、ひいらぐとは葉がトゲで触れると痛むことから。モクセイ科モクセイ属の常緑小低木で、雌雄別株。葉は対生し、十一月〜十二月に白く香りのする小さな花が咲き、実は夏に黒く熟す。

節分の夜に枝葉にイワシの頭をさして戸口に飾って邪気の侵入を防ぐ。

ヒイラギとホーリーの違いについて